



医療人能力開発センター & 医学教育センター

Wind

News letter No.39

No.1-38は「GUNMAS」およびHPに掲載しています

医療人能力開発センターホームページ

<http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

こちらから入って各部門をクリックしてご覧ください。



2014.10.16 No.39

医療人能力開発センター

臨床研修センター/スキルラボ部門
女性医師等教育・支援部門
看護職キャリア開発センター(仮)
地域医療支援センター(群馬県)

内線 7736 E-mail: c-center@ml.gunma-u.ac.jp

医学教育センター

内線 8017

E-mail: cme.gunma.univ@gmail.com

研修医症例発表会

平成26年9月26日(金)

今年で4回目となる、「群馬大学医学部附属病院初期研修医症例発表会」が、9月26日(金)に開催されました。この発表会は、臨床研修医の皆さんのこれまでの貴重な経験や症例などを一堂に持ち寄り、症例発表を体験していただく機会として行われています。また、11月に行われるぐんまレジデントグランプリ2014の、本院代表者選考会も兼ねています。今回も大変僅差ではございましたが、全28の演題の中から優秀賞の2名とベスト指導医賞、ベスト診療科賞を表彰させていただきました!

- 病院長賞 澤田 達宏先生 (指導医 前野 敏孝先生 呼吸器・アレルギー内科(2))
- 医学部長賞 高橋 紗也子先生 (指導医 清水 崇寛先生 歯科口腔外科・顎顔面外科)
- ベスト指導医賞 前野 敏孝先生 (呼吸器・アレルギー内科(2))
- ベスト診療科賞 循環器内科

次号で受賞者の声を紹介します



ぐんまレジデントグランプリ2014

2014年11月14日(金) 16:00~

群馬大学医学部臨床大講堂

県内臨床研修病院から初期臨床研修医が集まったの発表会です。どなたでもご参加ください。

澤田先生は当院代表として、ぐんまレジデントグランプリにて発表します。

第3回地域・へき地医療講習会(研修医旅行)

平成26年9月20日(土)・21日(日)

9月20日(土)~21日(日)の2日間、恒例の「研修医地域・へき地医療講習会」を、無事実施することができました!今年も総勢51名の研修医が、西吾妻福祉病院の見学ならびに、三ツ木副病院長による講習を受講しました。日々忙しい研修医にとって、同期と一緒に過ごす、貴重な2日間でした。各診療科の先生方には、参加にご高配いただき、大変ありがとうございました!!



第4回 Wind Joy Net Plus Meeting

平成26年9月9日（火）

石井ホール

医学部医学科5年生女子医学生を中心に17名の学生さんと、医師ほか合わせて56名が集い、第4回Wind Joy Net Plus Meetingを開催しました。今回も3名の先生にミニレクチャーをお願いしました。

整形外科のシニアレジデント大嶋 愛沙香先生からは、「女性が少ない科と思われがちだけど大丈夫、やりたいことにチャレンジを」と、とても楽しく仕事をされている様子が伝わりました。呼吸器アレルギー内科（2）の山口 彩先生は、「育児中で女性医師支援プログラムを利用しながら、専門医を目指しています。」と女性医師の働き方から、和気あいあいとした教室の様子、研修の基本として学んでおいてほしいことなどをお話いただきました。3人の男の子の子育て中でありながらパワフルな仕事ぶりの眼科の野田 聡実先生からは、これまでを振り返って良かったこと、大変だったことがあり、「大変な時期は人生のひとつ、自分だけで頑張りすぎずに周りの人にも助けてもらって頑張りましょう」とメッセージをいただきました。

女性医師支援プログラムのほか、群馬県医師会保育サポーターバンク制度、群馬大学男女共同参画推進室の支援制度など、働きやすい環境を目指しての活動をご紹介しました。懇親会ではなごやかに、賑やかに盛り上がり、アンケートでも有意義な情報が得られたとの意見をたくさんいただきました。



ミニレクチャーを
いただいた
大嶋先生（左上）
山口先生（右上）
野田先生（下）



情報交換会の様子



参加したシニアレジデント、初期研修医の先生方も自己紹介



シニアレジデント懇親会 報告

当院で働くシニアレジデントの先生方が自主的な交流の場を持っています。こういったコミュニケーションは、仕事の場面でも活かされ、院内の活性化にもつながることでしょう。これからもよろしくお願いいたします。

6月28日(土)、今年度当院に採用されたシニアレジデント（主に卒後3年目）の懇親会を開催しました。

同じ年に入会した同期といっても、これまでシニアレジデント同士で交流する機会はほとんどありませんでした。特に他大学出身や他病院で初期研修を行ったシニアレジデントは、所属診療科以外の医師と交流する機会は少なかったと思います。

そこで、当院初期研修医9期生の幹事が中心となり、診療科の枠を超えて同期のシニアレジデント同士の親睦を深めることを目的に本会を自主的に企画しました。初めての試みではありましたが、当日は13診療科・21名のシニアレジデントが参加しました。お互いの自己紹介などもあり、懇親会は大いに盛り上がりました。

今後も開催を予定しておりますので、今回は参加できなかった方も次回以降参加していただくと幸いです。（神経生理 澤田 悠輔）



昨年度も実施した、臨床医のための第1回『医療統計学‘再入門’セミナー』を開催しました。今年度も、藤田 晴康先生に講師をお願いしました。9月20日(土)および27日(土)の二日間にわたる集中講義形式でしたが、20日には60名(学内28名/学外32名)、27日には37名(学内15名/学外22名)の参加がありました。医師会との共催ということもあり(日本医師会の生涯学習講座に指定されました)、学外からも多くの参加者がみえました。

内容は、「データのまとめ方」から「推定と検定」「2群間の比較」「相関と回帰」「分散分析」「ノンパラメトリック法」まで、医療統計学の基本ですが意外に難しく、その重要性を忘れてしまいがちな内容を、コンパクトにわかりやすく講義していただきました。統計解析に関する相談を数多く受けてこられたご経験から、困ったケースなどが披露されると、会場からは笑いも起こっていました。セミナー終了後のアンケートでも、「基礎的なことから概念として理解しやすく、とてもわかりやすかった」「SPSSで間に合わせに出していた統計結果を改めて知ることができ、良かった」などと好評でした。今後も、幅広いテーマを取り上げていきます。

検定に2種類の過誤あり：表で示す
 H_0 ：帰無仮説, H_1 ：対立仮説, [] は例

		母集団での真実	
		H_0 成立(差がない)	H_0 でない(H_1 :差がある)
検定の判定	H_0 棄却	第1種の過誤 (type I error) 確率を α で表す あわてて言い過ぎ	正しい 確率 $1-\beta$ (検出力: power)
	H_0 採択	正しい ここが小さいと言う	第2種の過誤 (type II error) 確率を β で表す ぼんやり見逃す

分散分析表の模式図
 「分散分析」の結果は次のような表で示される
 (一元配置: k 個の群, 全 n 個の場合)

変動の要因	自由度 f	平方和(変動) S	分散 V	F比	(p 値)
群間(級間)	$k-1$	S_b	V_b	V_b/V_w	p
群内(級内)	$n-k$	S_w	V_w		
全体	$n-1$	S_t			

ここを見る!



統計に関する書籍などに関するご質問・ご意見
 & 統計セミナーのお申込み
 医学教育センター 井手野: cme.gunma.univ@gmail.com

医療統計に関する参考図書あります！

今回は、研究デザインに関する書籍をご紹介します。臨床研究の第一歩であり、また研究費の申請等で避けて通れないのが、研究プロトコルの作成です。しかし、重要性は理解していても、「実際のところ、何を書いていいかわからない」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。『医学的研究のデザイン—研究の質を高める疫学的アプローチ』は、研究テーマの選び方から研究デザインや統計手法まで、網羅的に解説してあります。個々の統計手法に関してはさまざまな教科書がありますが、本書のように研究デザインの中に位置づけて解説されているものはほとんどありません。臨床研究の経験のない方には少し難しいかもしれませんが、きちんとした臨床研究を行いと考えている研究者には必読の書です。現在、医学教育センターが所蔵しているのは「第3版」ですが、この夏(2014年8月)に「第4版」が出版されています。まずは、手に取ってご覧になってみてください。

* 医療統計に関する参考図書は、共用施設棟4階の研修医室内に置いてあります。ご利用の際は、臨床研修センターへの事前連絡とご登録をお願いいたします。図書の貸し出しは、貸出ノートがありますので、必要事項を記入してください。貸出期間は2週間です。

- ・Hulleyら(著)/木原雅子・木原正博(訳)『医学的研究のデザイン—研究の質を高める疫学的アプローチ— 第3版』メディカル・サイエンス・インターナショナル(2009)
- ・Hulleyら(著)/木原雅子・木原正博(訳)『医学的研究のデザイン—研究の質を高める疫学的アプローチ— 第4版』メディカル・サイエンス・インターナショナル(2014)



スキルラボセンターからのお知らせ

スキルラボセンターでは、購入を検討しているシミュレータのデモンストレーションや、新しく導入したシミュレータなどについての説明会を行っています。購入を検討しているシミュレータとしては、9月に「MeAV anatomie」と言う3D解剖映像システム、10月に胎児エコーが行える「バイメディックス 産科モジュール」の二つをご紹介します。バイメディックスは、すでに心臓・腹部超音波が出来るシミュレータが当スキルラボセンターに設置されており、今回、心臓（経食エコー含む）や、腹部超音波の説明会も併せて行いました。おかげをもちまして、多くの方に来場していただき貴重なご意見をたくさん頂きました。ありがとうございました。更に8月頃より、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」のシミュレータの説明会も診療科ごとに行っているところです。今後も、「使ってみたいけれど使い方が分からない」というようなシミュレータがありましたら、業者さんを招いての説明会などを随時検討しますので、お気軽にご相談ください。

(スキルラボ責任者 田中 和美)



スキルラボセンター

問い合わせ先：skill.lab@ml.gunma-u.ac.jp

URL： <http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/slc/>
(「群大スキルラボ」で検索！)

平成26年度 研究力アップ講座

主催 群馬大学男女共同参画推進室 / 協力 医療人能力開発センター

研究活動に役立つ
デザインの基本
伝わるプレゼン資料や申請書の作り方

In 昭和キャンパス
平成26年11月4日(火)
18:30～20:30
アメニティ講義室

研究発表に欠かせないプレゼンシートやポスターの作成に伴う、伝わるデザインの手法を学びます。文字の大きさ、レイアウト、フォント、色遣いなど研究発表に効果的な表現を体感していただけます。

10月27日(月)迄に、氏名・所属(学生・院生は学籍番号)・メールアドレスもしくは内線番号を明記し男女共同参画推進室までお申し込みください。

kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp
TEL 027-220-7146 FAX027-220-7143



筑波大学を卒業後、東京大学大学院の修士課程を経て、2012年に金沢大学自然科学研究科生命科学専攻修了、博士(理学)現在、日本学術振興会特別研究員(PD)。2010年より、研究発表の資料作成に必要なデザインのノウハウを普及することを目的にウェブページ「伝わるデザイン|研究発表のユニバーサルデザイン」の運営を始める。

講師 片山なつ氏

お申し込みをお待ちしています!

編集後記 (2014.10.16)

少し前に1月からの新しい手帳を購入しました。ずっと陰山手帳(百ます計算で有名な陰山英男氏の手帳)を愛用していますが、半年過ぎるとボロボロになり、来年の予定を最後のページに次々メモ書きして、新しい手帳に書き写すのを心待ちにしていました。もう少しスマートな時間管理ができないといけないとは思いますが、この縦書きスケジュールの手帳になじんで手放せなくなっています。なくすリスクもありますが(なくしたら仕事になりませんが)、ITが苦手な私は、ここはこだわりで継続の予定です。数年前の手帳の中身と比べてスケジュールの違いに感慨深さを覚えながら、目の前の仕事もかたづけかないのに次は何をやるのかなと思いを馳せてしまうのは、いけないくせです。このニュースレターは9月に発行予定でしたが、先月、39号にて初めて完成できずに断念しました。仕事は計画的に、計画は崩れることを想定して、予定を立てていきたいと思っています。ではまた、次回年内に発行予定です。(YN)